

# みけの ごうがいやさん

小川未明

青空文庫



あかとらが、みけに であつて、

「その くびに つけた、ぴかぴかする ものは なんですか。」  
と ききました。

「うちの ぼっちゃん、つけて くれた すぐです。」  
と、みけが こたえました。

「どれ、あるいて ごらんさい。」

みけが あるくと、カラカラ カラと すが なりました。

「あつはは、ごうがいやさんみたいだ。」

と、あかとらが わらいました。

みけは はずかしく なりました。

「なんで こんな ものを、つけたのかなあ。」

みけは かんがえながら おうちへ かえると、ちようど ねずみが、まどの  
ちよろちよろと のぼりました。 上へ

これを みつけた みけは 目を まるく しました。

ねずみは といを つたつて、えだに ついた 赤い<sup>あか</sup> かきを たべに きたのです。  
「わるい やつだ。」

みけは へいに のぼりました。カラカラ カラと すずが なりました。  
りこうな ねずみは、ねこの きたのを しると、かくれて しまいました。

みけは、ざんねんで たまりません。夜<sup>よる</sup>まで、じつと まどの 上<sup>うへ</sup>で、ねずみの てる  
のを まって いました。

コロコロ コロと、あちらで すずの 音<sup>おと</sup>が します。

「おや、だれだろう。」

と、みけは 月の<sup>つき</sup> ひかりで みますと、ねずみが きりの 木<sup>き</sup>へのぼり、みを ゆず  
つて、ねこを からかったのです。

みけは あかとのらの うちへ いきました。

「あかとのらさん、ねずみが ばかに するから、どうぞ この すずを とって くださ  
い。」

と たのみました。

あかとは そうだろうと いわぬばかりに、

「ニヤオ。」

と  
いって、  
みけの  
くびから  
すずを  
とって  
やりました。



# 青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 16」講談社

1978（昭和53）年2月10日第1刷発行

1982（昭和57）年9月10日第5刷発行

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：Juki

2012年7月16日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたってのは、ボランティアの皆さんです。

# みけの ごうがいやさん

小川未明

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>